

2011年4月1日

2011年度新入社員に対する挨拶（要旨）

社長 十倉 雅和

2011年は、当社にとって2010年度からスタートした中期経営計画の中間年にあたり、計画達成に向けて確実なステップアップが必要な年となる。計画策定時に比べ、為替相場などの経済環境やアジアを中心とした経済の枠組みが激変する中、これらの変化に的確に対応し中期経営計画を達成しなければならない。そうしたことを通じ、経営基盤・事業基盤をさらに強化・拡大させ、世界の化学産業におけるリーディングカンパニーになることを目指したい。

当社の一員となられた新入社員の皆さんには、3つのことを望みたい。

①「社会から信頼される人になる」こと

企業存続の前提は、社会から信頼されることにある。300年以上の歴史を有する住友の事業精神の基本は、「信用を重んじ確実を旨とする」ことである。これは、顧客をはじめとする関係先の信頼、社会の信頼に応えることを最も大切にするということだ。コンプライアンスを徹底し、社会の信頼に応え、正直かつ誠実に行動するとともに、CSRへの高い意識を持って仕事に取り組んでいただきたい。

②「志を高く持ち、常に学ぶ努力を続ける」こと

当社の使命は、コーポレートスローガンである「豊かな明日を支える 創造的ハイブリッド・ケミストリー」に表されるように、新しい価値を創造し、人類社会の発展に貢献していくこと。これを実現するためには、社員各人の強い意志や実行力、そして「志を高く持ち、常に学ぶ」という心がけが大切だ。仕事を通じて社会に貢献し、それぞれが自己実現を果たしていくために、常に挑戦を続け、学び、自分を磨いていくことを心がけていただきたい。

③「グローバルな視野を持ち、自らをグローバルな人材に昇華させる」こと

事業のグローバル化により、海外で活躍する機会や、異なる文化・価値観を持つ人々と共に仕事をすることが従来以上に広がっている。仕事を通して世界中の人々と交流を深め、異なる考え方や文化を持つ人々と互いに理解しあう姿勢を持ち続けていただきたい。そして、コミュニケーションを充実させ、共通の目的意識を持ち、切磋琢磨する中で、一人ひとりが住友化学グループの発展を支えるグローバル人材として大きく成長することを期待している。

以上

【ご参考】

入社式 : 本社（東京）にて 11時00分から

新入社員数 : 111名